

# 釜ヶ崎解放

'85

1月30日

日産全協☆釜ヶ崎支部  
釜ヶ崎日産労組

西成区萩之茶屋2-5-23 TEL 632-4273

## 今夕七時 市民館へ集まる

### 二百名以上もの仲間が参加した

### 人民パトロール、フトン敷きなど

## 第一五回越冬斗争報告集会開催

仲間たち、今晚、市民館で第一五回越冬斗争の報告集会が開かれる。

一五回目の釜ヶ崎越冬斗争は、前回の新しい試みがなされた。

その試みはどのような意味をもた

どのような成果をもたらしただか、共に考え、共に確認しよう。

### フトンだけでは...

前回、前々回の越冬斗争において

は、自キヨウ館前や市更相前で、座

わり込みや、シユムレヒにコールをあ

げて、大阪市民生局の、中層樓の行

革、軍抗、福祉切捨て路線への追従

による臨泊縮少、野垂死攻撃を糾弾

し、はね返すべく斗争をおこなった。

しかし、大阪市民生局は、我々の

最低限度の堂みである医療センター

軒下でのフトン敷きをあて込んで

ぞいるかのように、臨泊を縮少し続

け、昨年は六百名にも及ぶ仲間が青

カンを強制された。

仲間から一人の死者も出さなりの

スローガンのもと、セツぱつまった

思いで始められた越冬斗争が、いま

や、福祉切捨ての口実になっている

のではないか。ただたんに、フトン

を敷いて、わがかながらの暖みをお求め

て肩寄せ合うだけ―それだけを維持し

て実現するにも多くの人の力があつての

ことだからでは、不十分である。

さて、そのような判断は正しいもので

であったか、そのような判断から考え

出された、今回、越冬斗争のあり方は

多くの仲間にとってどのような意味を

もたらさうか。

## 三角公園での野営

臨泊受付の始まった一二月二十九日の

夜から、大阪市に対する抗議デモの一

日四日朝まで、何年かぶりで、公園で

焚き火をおこなない、そのまわりで野営

をおこなった。

そして、シノギ追放、仲間防衛のため

の人民パトロール。その意義は...

青カンをよぎなくされていった仲間、

パトロールやフトン敷きに参加した仲

間、それを見守っていた仲間、今、越冬

斗争をふり返り、改めて、団結!